

令和7年度 第2回社会教育委員の会議

令和8年2月20日(金) 午後1時30分～3時
中央生涯学習センター5階 人材かがやきセンター



- 1 開会
- 2 委員紹介
- 3 議事

【報告事項】

- (1) 第67回全国社会教育研究大会岩手大会 参加報告について
- (2) 令和7年度 図書館事業に係る図書館参考人からの意見について

【協議事項】

- (1) 令和8年度 社会教育行政の基本方針及び重点施策について
- (2) 令和8年度 文化行政の基本方針及び重点施策について
- (3) 令和8年度 社会教育関係団体に対する補助について

- 4 その他

- (1) 令和8年宇都宮市二十歳を祝う成人のつどいの実施状況について
- (2) 宇都宮市二十歳を祝う成人のつどいの高校生向けアンケート結果について
- (3) 今後のスケジュールについて

- 5 閉会

2 委員紹介

宇都宮市社会教育委員名簿

任期：令和7年7月1日～令和9年6月30日

1	岡村 安将	宇都宮南高等学校長 (栃木県高等学校長会宇都宮支部)	11	齋藤 美知枝	宇都宮市青少年指導員会会長
2	二宮 清美	瑞穂野中学校長(宇都宮市中学校長会)	12	前田 秀美	泉が丘小学校宮っ子ステーション 推進委員会会長
3	青木 孝浩	清原中央小学校長 (宇都宮市小学校長会)	13	鈴木 千明	家庭教育支援活動者
4	今井 政範	認定こども園さくらが丘理事長 (宇都宮地区幼稚園連合会)	14	川島 芳昭	宇都宮大学教授
5	飯塚 正好	一般社団法人宇都宮青年会議所理事長	15	河田 隆 (委員長)	宇都宮共和大学教授
6	小林 純枝	宇都宮市スポーツ協会副会長	16	佐々木 一隆	宇都宮大学名誉教授
7	松本 弘元	宇都宮市文化協会副会長	17	丸山 純一	文星芸術大学教授
8	石塚 勝	宇都宮市子ども会連合会会長	18	増渕 幸男	上智大学名誉教授
9	福田 治久	宇都宮市PTA連合会会長	19	中塚 英範 (副委員長)	市議会議員
10	小松 整洸	宇都宮市地域まちづくり推進協議会副会長	20	矢古宇 芳一	市議会議員

3 議事

【報告事項】

(1)第67回全国社会教育研究大会岩手大会
参加報告について

3 議事【報告事項】 (I)第67回社会教育研究大会岩手大会 参加報告 大会概要

1. 大会スローガン

学びと絆で未来を拓く! 社会教育のイーハトーブをめざしてinいわて

2. 研究主題

共に学び支えあう社会教育の実践 ~ウェルビーイングの実現に向けて~

3. 開催趣旨

- 現代の社会は、人と人との「つながり」の希薄化、困難な状況にある人々に関する課題が顕在化・深刻化しており、社会教育が果たす役割はますます重要になっている。
- 今大会の研究主題「共に学び支えあう社会教育の実践」は、個人の幸せとともに、地域が幸せや豊かさを感じられるものとなるウェルビーイングの実現のために、着実に取組を「実践」していこうとする決意でもある。
- 社会教育委員をはじめ社会教育に携わる仲間たちが、地域の幸せを願い、より良くしていこうとする実践を共有し、「自分たちが学び、発見したことを地域の課題解決にも生かすことができる」という社会教育の魅力と可能性を実感できる大会にしたい。

3 議事【報告事項】 (1)第67回社会教育研究大会岩手大会 参加報告 大会内容

令和7年10月30日(木) ※全体会

(1)アトラクション

賢治と歩む、賢治と学ぶ、賢治と歌う

(2)開会行事・表彰式

一般社団法人全国社会教育委員連合表彰 など

(3)記念講演

演題「岩手発 ブラックホール行き 銀河鉄道の旅」

【国立天文台水沢VLBI観測所所長（教授）本間 希樹氏】

(4)シンポジウム

テーマ

「共に学び支えあう社会教育の実践

～ウェルビーイングの実現に向けた社会教育の役割とは～」

コーディネーター

・武蔵野大学ウェルビーイング学部教授 前野 隆司氏

シンポジスト

・国立市教育委員会教育部公民館館長補佐 井口 啓太郎氏
(生涯学習課課長補佐兼任)

・埼玉県川口市立新郷小学校教頭 岡田 直人氏

・認定特定非営利活動法人インクルいわて理事長 山屋 理恵氏

(5)閉会行事

令和7年10月31日(金) ※分科会

第1分科会

「社会教育委員の役割」

第2分科会

「家庭教育支援」

第3分科会

「学校・地域の連携・協働」

第4分科会

「人づくり・つながりづくり・地域づくり」

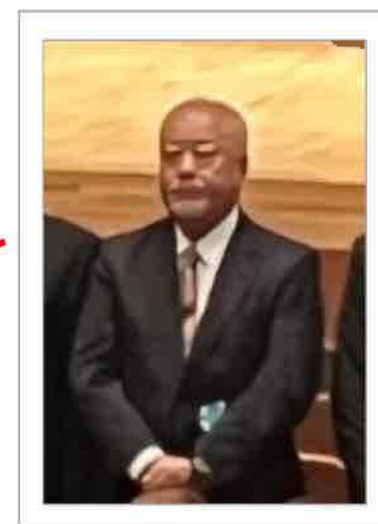
第5分科会

「公民館（社会教育施設）の役割」

3 議事【報告事項】 (I)第67回社会教育研究大会岩手大会 参加報告 表彰式

令和7年度 全国社会教育委員連合表彰 河田隆委員長が受賞されました!

河田委員長は、宇都宮市社会教育委員の会議において、平成22年度から現在まで委員として活躍しており、更に平成27年からは同会議内の委員長を務めるなど、本市の社会教育の推進に大きく貢献していることをはじめ、多数のご活躍が評価され、本表彰を受賞されました。



式典での
河田委員長

3 議事【報告事項】 (I)第67回社会教育研究大会岩手大会 参加報告 記念講演

テーマ 「岩手発 ブラックホール行き 銀河鉄道の旅」

講師 国立天文台水沢VLBI観測所所長（教授）本間 希樹（ほんま まれき）氏

アメリカ合衆国テキサス州生まれ，神奈川県育ち。1994年東京大学理学部天文学科卒，1999年同大学院博士課程修了。同年国立天文台COE研究員。その後，助教，准教授を経て2015年より現在まで，国立天文台教授，水沢VLBI観測所所長を兼務。専門は電波天文学。
著書に『巨大ブラックホールの謎』『国立天文台教授が教える ブラックホールってすごいやつ』など。2017年よりNHKラジオ『子ども科学電話相談室』の回答者も務める。

概要

1.水沢に天文台があるのはなぜ？

- ・国際緯度観測事業（1899年～）
- ・北緯39度8分上にある世界の6カ所

2.銀河鉄道からブラックホールへ

- ・宮沢賢治は緯度観測所を複数回訪問し，一部の作品の着想を得た
- ・銀河系の3次元立体地図を作るプロジェクト

3.ブラックホールとは

- ・強い重力のため，光さえ脱出できない天体
- ・巨大ブラックホールは明るい？

4.ブラックホールの写真を撮る

- ・世界の望遠鏡を使い，地球規模の電波望遠鏡を合成する

5.研究の歴史と今回の結果の意義

- ・ブラックホールの存在を視覚的に示した
- ・銀河の中心にある天体がブラックホールであると確実にされた

6.社会教育の関係者へメッセージ

- ・未来の担い手には「能動的な行動力」が必要
→社会教育が果たす役割が重要である

3 議事【報告事項】 (I)第67回社会教育研究大会岩手大会 参加報告 シンポジウム



テーマ 「子どもたちの成長を支えるために社会教育は何ができるか」

講師

コーディネーター

武蔵野大学ウェルビーイング学部教授 前野 隆司氏

シンポジスト

国立市教育委員会教育部公民館館長補佐 (生涯学習課課長補佐兼任)	井口 啓太郎 氏
埼玉県川口市立新郷小学校教頭	岡田 直人 氏
認定特定非営利活動法人インクルいわて理事長	山屋 理恵 氏

3 議事【報告事項】 (I)第67回社会教育研究大会岩手大会 参加報告 シンポジウム

	障害の有無に関わらず共に学ぶ 社会教育実践（井口氏）	多文化共生の実現に向け 学校や地域でできること（岡田氏）	インクルいわて（山屋氏）
課題・目標	<p>障がい者が特別支援学校を卒業した後、参加できる学びや交流の機会が少ない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共に学び、生きる社会の実現 ・障がい者の主体的な学び ・社会参加の実現 	<p>外国人親子の支援と地域住民とのつながりづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ことばの壁，制度の壁，こころの壁 ・学校に通う子や保護者を中心に ・学校を核とした地域づくり 	<p>ひとり親などの家族のカタチにかかわらず，誰もが生き生きと暮らしていける包摂された社会の実現を掲げて活動 ⇒多種職のスタッフによる支援を構築</p>
具体的な活動	<p><u>しょうがいしゃ青年教室（月1回）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者向けの余暇・文化活動 ・スポーツ/クラフト/喫茶実習など ・公民館職員，スタッフが運営 <p><u>喫茶わいがや（金土日12～18時）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・喫茶コーナーの営業 ・市民グループが運営 ・青年教室の実習の場でもある <p><u>コーヒーハウスの合同イベント</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・青年教室，喫茶メンバーの交流行事 ・花見/BBQ/スポーツ大会/合宿など ・メンバーから選出された実行委員と公民館職員 <p>いずれも国立市公民館を拠点に活動</p>	<p><u>モデル事業の取組</u></p> <p>■ふじみ野市 アンケートによるニーズ調査 外国籍保護者，教職員，日本語指導員 ⇒日本語教室や文化交流イベントの開催</p> <p>■熊谷市 ・外国籍の子どもの居場所づくり ・学校生活紹介動画を作成，公開</p> <p><u>川口市の状況</u> 外国人の増加に伴い外国人児童が増加 ⇒日本語教員による指導に加え，ボランティア日本語教室などを実施</p>	<p><u>貧困の問題</u> 過去40年間で家族の姿が変化 ⇒母子世帯の困難さ 金銭給付だけが解決策ではない</p> <p><u>被災地ひとり親家庭への包括的支援</u> 2012年～。被災地調査，中間的就労支援など9つのプログラムでサポート</p> <p><u>コロナに負けるなひとり親家庭応援</u> 2020年～。体験型こども食堂，受験生応援など9つのプログラムでサポート</p> <p><u>子ども食堂</u> 相談，孤立の緩和，地域住民の参画 地域全体での子育てなど ⇒持続可能な地域力が促進</p>

3 議事【報告事項】 (I)第67回社会教育研究大会岩手大会 参加報告 第1分科会 社会教育委員の役割

テーマ これからの地域づくりや家庭・地域の教育力向上に向けて社会教育委員はどのようにかかわっていけばよいか

視点 人口減少社会における新しい地域づくりに向け, 触れ合い, 支え合い, 助け合いを再構築するなど, 地域の課題をどのように解決していくか, 社会教育の中核を担う社会教育委員の役割について考える。

コーディネーター

岩手大学名誉教授 新妻 二男氏

発表者

岩手県の地域づくりや教育振興運動等における社会教育委員の関わり
岩手県社会教育委員 議長 中村 利之 氏

委員の学び愛が育む仙台市社会教育委員の会議
仙台市社会教育委員 委員長 松本 大 氏

3 議事【報告事項】 (I)第67回社会教育研究大会岩手大会 参加報告 第1分科会 社会教育委員の役割

テーマ 岩手県の地域づくりや教育振興運動等における社会教育委員の役割

■自治会を中心とした地域づくり ～盛岡市黒石野平地町内会の事例～

- | | |
|------------------------------|---------------------------|
| (1)生活環境の整備・改善…道路整備,ごみ出しルール | (4)児童・生徒の健全育成…総合学習への協力と支援 |
| (2)会員相互の意思疎通・親睦…交流事業の積極化 | (5)関係団体との連携・協力…祭りへの協力など |
| (3)文化・福祉活動の推進…防災訓練,交通安全運動の推進 | (6)公民館充実…整備充実を図り,会員の利活用促進 |

■家庭・地域の教育力向上～岩手県が誇る「教育振興運動」

提唱の背景	昭和37年頃の教育水準が,岩手県が全国的に低い水準だったことを受け,昭和39年に提唱。 「 <u>子供たちも,父母も,学校も,地域社会も,行政も</u> 人の責任にしないで,自分の責任だと考えて,しかも力を合わせて取り組まなければ,教育の発展はない」(5者の責任)	
基本理念	・5者が互いの責任を明確にし,力を合わせて教育の向上に努める。 ・地域社会の実情に即した運動である。など	
運動の目標	・児童生徒の学力意欲の高揚 ・学校教育の充実 ・家庭教育の振興	・教育条件の整備充実 ・地域社会における教育環境の醸成
教振の歩み	S40～学力向上(学習環境の充実) S50～健全育成・健康安心(挨拶や美化運動) H元～生涯学習の基礎(家庭学習・読書)	H24～復興教育(東日本大震災の発災) R2～推進5か年プラン(メディアとの付き合い方) R6～教育振興運動プラン(確かな学力)

3 議事【報告事項】 (I)第67回社会教育研究大会岩手大会 参加報告 第1分科会 社会教育委員の役割

テーマ 委員の学び合いが育む仙台市社会教育委員の会議

■仙台市社会教育委員の概要

条例及び規則	仙台市社会教育委員の設置に関する条例(昭和27年6月) 仙台市社会教育委員会議規則(昭和28年4月)
委員定数	17名以内
任期	2年(会議数6回/年)
特徴	1.提言書を事務局ではなく委員が執筆している。 2.会議は終始和やかで、活発に進行している。 3.定例会以外にも委員が自主的に集まり、話し合いを行っている他、懇親会を開催し親睦を深めている。 4.委員の自主性や力量に依拠した会議運営の基盤に、教育委員会による手厚いサポートがある。

■今期の仙台市社会教育委員の概要

今期	令和6年4月1日～令和8年3月31日
委員数	13名 (学校教育関係者1名,社会教育関係・家庭教育の向上に資する活動を行う者7名,学識経験者5名)
今期のテーマ	こどもをとりまく社会教育のあり方ー学ぶ喜びと居場所のためにー
活動内容	・2年間をかけて提言書を作成し,教育委員会へ提出する ・委員を2グループに分け,それぞれのグループに分かれて調査・検討を行う。 「地域におけるこどもの学びと居場所」「外国にルーツを持つこどもの学びと居場所」

3 議事【報告事項】 (I)第67回社会教育研究大会岩手大会 参加報告 第4分科会 人づくり・つながりづくり・地域づくり

テーマ インクルーシブ社会（共に生きる社会）を目指した社会教育の挑戦

視点 持続可能な社会の創り手として期待される子どもに関する社会課題や教育課題が多様化・複雑化・複合化している。多様な主体との連携・協働による課題解決学習の展開やインクルーシブ社会（共に生きる社会）を目指した社会教育を基盤とした「人・つながり・地域づくり」の挑戦について考える。

コーディネーター

盛岡大学短期大学部教授 嶋野 重行氏

発表者

家族と友達と地域で暮らしたい～幼児支援から見えるインクルーシブ社会

こどものデイサービスなないろ 所長 関 ミチル氏

保育・教育現場におけるペアレント・トレーニングの活用と研修からみえた課題

盛岡大学文学部 准教授 塩谷 彩花氏

放課後等デイ・児童発達支援事業から見える中学生や高校生

居場所支援事業所ソルド 所長 佐藤 友氏

障がい者支援施設における芸術活動支援

障がい者支援施設希望が丘学園 園長 高橋 由紀氏

3 議事【報告事項】 (I)第67回社会教育研究大会岩手大会 参加報告 第4分科会 人づくり・つながりづくり・地域づくり

	家族と友達と地域で暮らしたい～幼児支援から見えるインクルーシブ社会(関氏)	保育・教育現場におけるペアレント・トレーニングの活用と研修会からみえた課題(塩谷氏)
活動・事例	<p>障がいを持った子どもの福祉サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援 ・放課後等デイサービス ・生活介護 ・日中一時支援:多様な家庭背景を支える ・福祉有償運送:制度等でフォローされていない登校支援 	<p>発達障害におけるペアレント・トレーニング(PT)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育・教育現場におけるPT研修会の実施 <p>※ペアレント・トレーニングとは環境調整や子どもへの肯定的な働きかけを学び、保護者や養育者の関わり方や心理的なストレスの改善,子どもの適切な行動の促進と不適切な行動の改善を目的としたプログラム</p>
成果・課題	<p>不利益が生じない体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配慮が必要な子ども達は,他の子どもの「当たり前」を当たり前に行えない現状がある。 ・幼稚園,保育園で手厚い支援を受けて成長しても,就学後に「教育の壁」に当たることもある。 ・教育を受ける権利は保証されているが,それを取り巻く環境が追い付いていない(制度の隙間) <p>⇒柔軟な福祉と教育の協働が必要</p>	<p>保育園でのPT研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「普段の関わり」と「PTスキルの取り入れた関わり」の2パターンをロールプレイし,比較することで,保育者自身のこれまでの振り返りや意識改革を促すことができた。 <p>⇒PTスキルを「個人」で取り入れようとする,「子どもの関わり方」の違いから園児自身が戸惑ったり,保育者同士のすれ違いが発生する懸念があるため,「園全体」で取り組むことが重要</p>
今後について	<p>子どもの未来に繋がる地域・未来人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人や地域,さらに次の担い手である学生と一緒に支え合う,価値観や枠組みを超えた体制作りが必要 ・障がいのことを「自分のこと」「いつでもだれにでも起こりうること」としてみてほしい 	<p>子どもの対応について保育者同士がオープンに対話できる風土作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもそれぞれ特性が異なるため,それらを理解し保育者同士が情報を共有し,また,PT専門家などとも連携しながら,より深く子どもへの対応を考えていくことが重要

3 議事【報告事項】 (I)第67回社会教育研究大会岩手大会 参加報告 第4分科会 人づくり・つながりづくり・地域づくり

	放課後等デイ・児童発達支援事業から見える中学生や高校生(佐藤氏)	障がい者支援施設における芸術活動支援(高橋氏)
活動・事例	就労支援・定着支援 放課後等デイサービス 児童発達支援 不登校支援 障がい者グループホーム運営	生活介護事業の活動の一つとして日常的にアート活動を実施 ・利用者の特性にあわせた環境整備(絵具,粘土,木材,筆,刷毛,ローラーなど様々な素材や道具を活用) ・積極的に作品展に出展 ・アート作品の展示を主体とした施設のイベントを開催
成果・課題	岩手県内の3拠点で活動しており,一人ひとりに合わせ,福祉と医療から教育療育までを支援 ・生徒の生の声を聴く中で,「つまづき」の原因となる事柄や認知のズレ,歪みなどが見えてくる。 ⇒これらは教育現場だけの課題ではなく,家庭や地域との共生課題として捉えられるべきものである。 ⇒「福祉=障がい」というイメージは,「ふつう」を願う子どもたちや家族にサービスを利用するにあたっての大きな障壁となる。	・自分の感情を言葉で表現することが難しい利用者も制作しているときは自然と気持ちが表れる。 ・制作活動の中で五感が刺激されるので,感覚統合や認知機能の維持向上にも効果がある。 ⇒アート活動は子どもから大人まで誰でも取り組めて共有できる,身近なコミュニケーションツールであるため,このコミュニケーションの輪をどのように広げていくかを利用者と一緒に考えていきたい。
今後について	学べる環境の選択肢を増やすこと ・人それぞれ違いがあり,過ごしやすさや学べる環境も異なる考えがあっいいので,選択肢をふやしてあげることが必要	・アート活動を通じて利用者の興味や好きなこと,活動,人とのつながりなど,色々な世界を広げていきたい。

【報告事項】

(2)令和7年度 図書館事業に係る
図書館参考人からの意見について

3 議事【報告事項】

(2)令和7年度 図書館事業に係る図書館参考人からの意見について

◎ 趣旨

令和7年11月13日に図書館参考人から「第3次宇都宮市地域教育推進計画後期計画」の図書館事業について意見聴取したため、その結果を報告するもの

1 図書館参考人について

図書館事業について専門的かつ幅広い意見を聴取することを目的として設置（任期2年）

宇都宮市立図書館参考人名簿（任期：令和6年6月1日～令和8年3月31日）

1	黒尾 貴英（くろお たかひで）	栃木県教育委員会事務局 生涯学習課
2	吉澤 麻衣子（よしざわ まいこ）	栃木県立図書館
3	篠原 良一（しのはら りょういち）	公益財団法人 栃木県産業振興センター
4	小林 克明（こばやし かつあき）	栃木県高等学校教育研究会図書館部会
5	谷黒 潤（たにぐろ じゅん）	宇小教研図書館部会
6	大橋 幸雄（おおはし ゆきお）	作新学院大学
7	麦倉 仁巳（おぎくら ひとみ）	社会福祉法人 宇都宮市障害者福社会連合会
8	桐生 雅美（きりゅう まさみ）	宇都宮子どもの本連絡会
9	鈴木 明（すずき あきら）	宇都宮市地域まちづくり推進協議会
10	中村 周二（なかむら しゅうじ）	利用者代表（公募）

3 議事【報告事項】

(2)令和7年度 図書館事業に係る図書館参考人からの意見について

2 各事業に対する主な意見

【「宇都宮市電子図書館」の利用促進について】

施策1 学習意欲の向上に資する取組の推進

事業番号2 デジタル技術を活用した学習, 読書機会の充実

事業番号6 読書活動の充実

- 「読み放題パック」について, 子どもたちは喜んで読んだと思う。「電子書籍」はタイトルが少ないのが難点。もう少しコンテンツを増やしていただけるとありがたい。
- 高齢者にとってスマホを活用することはハードルが高い部分があると思うので, 使い方などを気軽に体験してもらえそうな機会があると, 少しハードルが下がると思う。
- 高齢者や障がい者にとって, 音声読み上げ機能や文字の拡大など便利な機能があるので, ぜひ多くの市民に周知し, 利用されるような広報をお願いしたいと思う。
- 電子図書はタイトル数が少ないが, 紙の本であれば所蔵しているケースもあるため, 紙の本の利用につなげていくような工夫があると読書するきっかけ作りとしてすごくいいと思う。
- 本を選ぶ人と利用者が繋がるような仕組み, 選書そのものに関わるのは難しいが, 読んでいる人たち同士の中で繋がりが生まれてくるような図書館になっていくと電子図書館って面白いと思う。

3 議事【報告事項】

(2)令和7年度 図書館事業に係る図書館参考人からの意見について

【読書バリアフリー事業の推進について】

施策9 学習や活動を促進する環境づくり

事業番号56 視覚障がい者等の読書を支える図書館サービスの充実

- 障がい者団体や障がい者,特に視覚障がい者は情報を収集するのが大変で,情報収集は大切と意識しており,障がい者への対応等についても手話言語条例とか広い範囲で,手話以外にも点字とか他の部分も含めて引き続きお願いしたい。
- 読書バリアフリー資料の周知啓発については,新しい周知手法を模索するよりも,利用者のポジティブな口コミが広がる方が資料の利用促進に効果的だと思うので,利用者に寄り添った対応をお願いしたい。
- 読書バリアフリー事業について学校図書館関係者にも研修をされており,力を入れられていると思う。
- 学校図書館にも「りんごの棚」のような環境を整える取組を学校に伝えていただき,団体貸し出しを投げかけるといいと思う。

3 議事【報告事項】

(2)令和7年度 図書館事業に係る図書館参考人からの意見について

3 その他の意見

施策1 学習意欲の向上に資する取組の推進 事業番号7 子どもの読書活動の推進

- 「うつのみやこども賞」の記念式典や記念講演について興味を持った子がみられるよう、動画配信などの工夫をしてもらえたらよかったと感じた。

【協議事項】

(1)令和8年度社会教育行政の基本方針 及び重点施策について

3 議事【協議事項】

(1) 令和8年度 社会教育行政の基本方針及び重点施策について

◎ 趣旨

令和8年度における社会教育行政の基本方針及び重点施策について協議するもの

Ⅰ 基本方針

「第3次宇都宮市地域教育推進計画後期計画」の目標達成に向け、令和8年度においても後期計画の「3つの特徴」に資する取り組みを推進する

デジタルの活用と地域共生社会

読書活動の推進と課題解決力の向上

大学・企業等との連携と人材育成



家庭の教育手帳
(R7年度からデジタル版を公開)



R7年9月 陽南子どもの家
家庭教育支援活動者
季節の絵本読み聞かせ



R7年11月 宮の朝活 第25弾
毎日のコーヒーが変わる！
～プロ直伝のハンドドリップ体験～

3 議事【協議事項】

(1) 令和8年度 社会教育行政の基本方針及び重点施策について

令和8年度
重点施策

4つの
基本目標
に対応

1 個人の主体的な学習の推進に資する施策

- デジタル技術を活用した学習, 読書機会の充実
 - ・ 生涯学習センター等における学習機会の充実
 - ・ 図書館における多人数向け電子書籍サービスの充実
- 学び直しの支援
 - ・ 学び直しを促すリカレント教育出前講座の実施

2 地域・学校・家庭が連携・協力した教育活動に資する施策

- 『親学』の推進
 - ・ 家庭や地域の教育力向上を図るため, 家庭での読書習慣を育む取組や, 保護者への学びを促進する「親学」と個別具体的に家庭にアプローチしていく家庭教育支援, 地域全体で連携・協働しながら子どもの成長を支える教育活動の充実
- 魅力ある学校づくり地域協議会活動の充実
 - ・ 魅力ある学校づくり地域協議会を生かしたコミュニティ・スクール導入に向けた学校・地域の協働体制の強化
- 宮っ子ステーション事業の充実
 - ・ 子どもの家の運営検証に係る検討組織の設置
 - ・ 放課後子ども教室事業の全校区実施に向けた働きかけ

3 議事【協議事項】

(1) 令和8年度 社会教育行政の基本方針及び重点施策について

令和8年度
重点施策

4つの
基本目標
に対応

3 学んだ成果を生かした活動の推進に資する施策

- **NPO・大学・企業等と連携した学習の推進**
 - ・ 地域団体や大学・専門学校, 企業など, 内容に応じて様々な組織と積極的に連携し, 学習を通して学校や企業, 地域が関係を深めるきっかけを育む
- **地域の教育活動の担い手の育成**
 - ・ 学校支援ボランティア, 放課後子ども教室コーディネーターの育成支援
- **地域学・宇都宮学講座等の充実**
 - ・ 地域への理解・愛着を育む講座, 防災など地域課題の認識により, 様々な世代の活動参画の契機となる講座の充実を図る

4 学習や活動を支え, 促す環境づくりに資する施策

- **生涯学習センター施設, 図書館施設の利用促進**
 - ・ 生涯学習センター等におけるオンライン予約等を行う「公共施設予約システム」を用いた講座, 学習成果の発揮や交流を促していく文化祭を開催
 - ・ 教職員が読書バリアフリーについて効果的・効率的に知見を深める契機とする市内小中学校向け「バリアフリー図書パック」の巡回
- **社会教育施設的环境整備の推進 (安全で快適な施設整備の推進)**
 - ・ 中央図書館 老朽化対応(鉄筋コンクリート造建築物の耐用年数評価調査)
 - ・ 学校敷地外にある子どもの家の校舎内への移転・教室の改修

【協議事項】

(2)令和8年度文化行政の基本方針 及び重点施策について

3 議事【協議事項】

(2) 令和8年度 文化行政の基本方針及び重点施策について

◎ 趣旨

令和8年度における文化行政の基本方針及び重点施策について協議するもの

Ⅰ 基本方針

国の第2期文化芸術推進基本計画において文化芸術は、人々の創造性を育み、豊かな人間性を涵養するとともに、人々の心のつながりを強め、心豊かで多様性と活力のある社会を形成する源泉としており、「文化芸術と経済の好循環」を実現すべく「文化芸術を通じた地方創生の推進」や「デジタル技術を活用した文化芸術活動の推進」などを重点取り組みとして推進している。本市においても、「第6次宇都宮市総合計画改定基本計画」に掲げる「魅力創造・交流の未来都市」の実現に向け、「人」づくりや「デジタル」の積極的な活用を進めながら、文化活動環境の充実や文化資源の保存・活用などの課題に取り組むことが求められている。

こうした時代の潮流・ニーズを的確に捉えながら、本市では令和7年度においては、「第2次宇都宮市文化振興基本計画」の最終年の年であるため、計画の改定作業を進めてきたところである。令和8年度からは「第3次宇都宮市文化振興基本計画」に基づき、第2次計画から継承することとした4つの基本方針「文化を身近に感じ、活動できる環境づくり」や「文化をつなぐ人材育成」、「宇都宮文化の創造・継承」、「文化を活用したまちづくり」に取り組み、庁内外の関係機関等との連携のもと、文化の薫るまちづくりを一体的に推進していく。

3 議事【協議事項】

(2) 令和8年度 文化行政の基本方針及び重点施策について

2 重点施策

1 文化を身近に感じ、活動できる環境づくりの推進

市民が日頃のくらしに文化活動を取り入れ、より豊かな生活を送るために、デジタル技術も活用しながら文化芸術に触れる環境や発表・活動の環境、そして文化を学べる環境を充実させていくとともに、ターゲット層を意識した戦略的な情報発信を行うなど、市民が様々な文化情報を得やすい環境を整備することにより、メディア芸術を含む新しい鑑賞・活動形態の変化やライフスタイルの変化にも対応し、市民が文化をより身近に感じ、気軽に触れ、発表するなど活動できる環境づくりを推進します。

主な施策

・歴史・文化デジタルミュージアム事業の推進

⇒デジタル技術を活用し、文化資源のアーカイブ化とデジタルミュージアムの構築を進めます。

・ライフスタイルに応じた活動環境の充実

・メディア芸術の振興促進

⇒市民の関心が高まりつつあるマンガ・アニメ等のメディア芸術の振興を図るため、市民芸術祭のメディア芸術部門での取組の強化をはじめ、様々な事業、イベント等でメディア芸術を積極的に活用します。

・ターゲット層を意識した戦略的情報発信の推進

⇒ホームページやSNS等を活用し、各種イベントや講座ごとに設定したターゲット層を意識した広報展開を行い、より効果的な発信を推進します。

3 議事【協議事項】

(2) 令和8年度 文化行政の基本方針及び重点施策について

2 文化をつなぐ人材の育成の推進

文化を創造・継承する人材を、持続的に育成していくために、地域や学校などにおいて文化を先導する人材の育成や担い手育成のほか、地域文化を守り・伝える人材や団体の育成支援を進めることにより、文化をつなぐ人材等の育成を推進します。

主な施策

・デジタルコンテンツを活用した学習機会の充実

⇒市内小中学校で学習している「宇都宮学」やその他授業について、歴史文化芸術に関する児童生徒の学習効率の向上を図るため、デジタル技術等を活用した分かりやすいコンテンツの発信を推進します。

・中学校部活動及び地域クラブ活動における地域人材の育成・活用

⇒休日の部活動の地域展開が進められていることから、学校部活動における地域人材の育成・活用について積極的に取り組みます。

・市民学芸員の推進

⇒宇都宮の歴史文化に関心を持つ市民を対象に各種講座を実施し市民学芸員としての知識の習得を促すことで、地域の文化の担い手育成を推進します。

3 議事【協議事項】

(2) 令和8年度 文化行政の基本方針及び重点施策について

3 宇都宮文化の創造・継承の推進

市民が楽しみながら多彩な宇都宮文化を知り、故郷に誇りと愛着を感じるために、デジタル技術等を活用したり、芸術文化と歴史文化を融合させたりするなど、宇都宮文化の価値を高め、新たな発見や魅力の創出を推進するとともに、これまで積み重ねられた宇都宮文化について、次世代の文化創造に資するよう、保存・継承を推進します。

主な施策

・芸術文化と歴史文化の融合

⇒文化財施設での音楽発表や芸術作品の展示を行うなど、芸術文化と歴史文化を融合させて新たな魅力の創出と発見を促し、地域文化への関心と誇りを高めます。

・文化財の防災・防犯対策の推進

⇒歴史文化資源を火災、震災、その他の災害から守るため、本市所在の指定文化財の管理状況を確認する予防査察や防火防災訓練や、地域住民と連携した文化財パトロール等、地域ぐるみで歴史文化資源を見守る体制の充実に取り組んでいきます。

3 議事【協議事項】

(2) 令和8年度 文化行政の基本方針及び重点施策について

4 文化を活用したまちづくりの推進

文化のもたらす経済的・社会的効果がまちづくりの力となるよう文化・芸術・歴史資源を活用した文化観光を推進するほか、国際交流や福祉など多様な分野との連携を強化した施策を展開することにより、地域の魅力づくり、絆づくり、多文化共生などを促進し、多くの人々が訪れ交流する魅力あふれる宇都宮のまちづくりを推進します。

主な施策

・文化・芸術・歴史資源を活用した文化観光の推進

⇒本市の文化財や、百人一首、ジャズなどの文化資源と、各種観光イベントとの連携を図り、多様な文化的魅力を発信することで、滞在時間や消費の拡大につなげ、文化のもたらす経済的効果がまちづくりの力となるための施策展開を推進します。

・多様な分野との連携強化

⇒本市の誇る文化芸術歴史資源について、庁内外の関係機関と連携し、医療、介護、観光など、多様な分野と施策間連携することで、文化のもたらす経済的・社会的効果がまちづくりの力となるための施策展開を推進します。

・産学官連携による文化振興事業の推進

⇒教育機関や研究機関等が持つ知的・人的資源を活用し、文化が福祉など多様な分野と連携することで、人々の生活の質の向上に資するよう調査研究を推進します。

・友好都市との文化交流の推進

⇒うるま市など友好都市と、より一層の連携強化を図り、事業による「人づくり」の機会の創出や地域経済の活性化などの相乗効果を生み出すため、文化分野での連携・交流事業を推進します。

【協議事項】

(3) 令和8年度社会教育関係団体
に対する補助について

3 議事【協議事項】

(3) 令和8年度社会教育関係団体に対する補助について

【趣旨】

令和8年度の社会教育関係団体に対する補助金交付にあたり、社会教育委員の会議から意見を聴取するもの

1 社会教育関係団体への補助金交付の条件

- (1) 本市に事務所を置き、本市域内で社会教育活動を行っている団体
- (2) 営利を目的とせず、会員が自主的に運営している団体
- (3) 本市社会教育の振興に寄与すると認められる事業を行う団体

2 社会教育関係団体への補助金額

「宇都宮市社会教育関係団体補助金交付要綱」および「宇都宮市社会教育関係団体補助金補助基準」により定める。

3 社会教育関係団体への補助金に関する関係法令

○社会教育法第13条

「国又は地方公共団体が社会教育関係団体に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ、国においては文部科学大臣が審議会等で政令で定めるものの、地方公共団体においては教育委員会が社会教育委員の会議の意見を聴いて行わなければならない。」

⇒補助金交付により市が不当な統制的支配をしていないか、社会教育関係団体が自主的主体的な活動を行っているか、などの点検の必要性を示している

4 令和8年度交付予定団体

- ・宇都宮市PTA連合会
- ・宇都宮市子ども会連合会
- ・宇都宮市文化協会

3 議事【協議事項】

(3) 令和8年度社会教育関係団体に対する補助について

No.	団体名	目的	活動内容	成果や課題
I	宇都宮市 PTA 連合会	単位PTA相互の 連絡と協力による 児童・生徒の健全 な育成, 各PTA組 織のさらなる発展 等の共通目的の 達成を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ① 研修会等の 開催, 参加 ② 単位PTAの 研修補助 ③ 各委員会等の 活動 ④ 広報紙の発行, コンクールの 開催 	<ul style="list-style-type: none"> ① PTA会長向けの研修会や, 校長とPTA会長の相互交流を 交えた研修会, 指導者向けの研修会を実施した。単位PTA の中核となる保護者としての素養を育んだ。さらにソフトボ ール及びバレーボール大会、宇都宮市の小中学校を5ブロック に分けた会議を通して、情報の交換・共有の場を数多く設定 し各PTAのつながりづくりを行った。 ② PTA会長会や定期総会において, 研修補助の制度を周知し, 宇都宮市主催の親学講座を行うよう働きかけた。 ③ 常置委員の活動は, 年当初の計画通りに実施でき, 実施し た内容をホームページに掲載し, 情報発信を行った。 12月には財務委員会研修会において各学校で関心の多 かった課題についてグループ討議をしたり、インターネットバ ンキングについての事例研修会を行ったりすることにより PTA会計の効率化を図るとともに共通課題意識をもって協 働へのきっかけづくりを行った。 ④ ホームページを活用し, 事業内容やブロック活動, 委員会活 動を紹介することで, 市P連としての活動の周知を図った。 また, 広報誌については単位PTAの特色ある取り組みを紹 介し, 単位PTAの支援を行った。

3 議事【協議事項】

(3) 令和8年度社会教育関係団体に対する補助について

No.	団体名	目的	活動内容	成果や課題
2	宇都宮市子ども会連合会	各地区子ども会育成会連絡協議会（地区子連）相互の連携を強化し、各地区子ども会活動の活性化に努め、もって次代を担う青少年の健全育成に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> ① 各種イベントへの参加 ② 研修会の開催 ③ 市子連役員の各種会議への出席 ④ 各地区連合会等への助成 	<ul style="list-style-type: none"> ① イベントへの参加については、5月に開催されたフェスタmy宇都宮において、模擬店やスライム制作体験コーナーを運営し、団体の知名度向上につなげるほか、運営を通して地区連合会役員のつながりづくりを図った。 ② 7月に「ラジオ体操講習会」、11月に「視察研修」を実施した。地区連合会の指導者に対して研修を行うことで、子どもの健康な体づくりの促進や環境意識の向上を図ることができ、指導者としての素養を育むことができた。 ③ 関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会や、社会教育委員、文化創造財団評議委員会、人づくり推進委員会などの会議に参加した。 ④ 各地区の子ども会やULCの活動の活性化を図るため助成費を支出した。各地区の子ども会行事等にUCLを派遣し、レクリエーション活動を行った。

3 議事【協議事項】

(3) 令和8年度社会教育関係団体に対する補助について

No.	団体名	目的	活動内容	成果や課題
3	宇都宮市文化協会	芸術及び文化関係者の連絡・調整と親睦を図るとともに、広く市民の参加を求め、本市文化の向上・振興を図る。	<ul style="list-style-type: none">① 会員・文化関係者間の連絡調整② 各種講座・教室等の開催③ イベントの開催、参加④ 広報活動等	<ul style="list-style-type: none">① 定期総会や役員会の開催、会報や協会誌の発行などにより、会員や文化関係者等において連絡調整を図った。② ふれあい文化教室（小中学校等への文化芸術講師派遣事業）を90校129回実施したほか、歌舞伎観劇会や文化探訪の開催など、市民が文化芸術に触れる・学ぶ機会を創出することができた。③ 会員による文化協会会員展を開催し、本市の文化芸術のPRを図ることができた。④ 会報や協会誌を発行して会員及び文化芸術関係者間への情報発信を図ったほか、ホームページでの団体や活動の紹介、各イベント・事業のチラシ・ポスター・市広報紙等による広報活動に取り組み、広く市民に周知を図ることができた。

4 その他

(1)令和8年宇都宮市二十歳を祝う
成人のつどいの実施状況について

4 その他

(1)令和8年宇都宮市二十歳を祝う成人のつどいの実施状況について

1 開催日

令和8年1月11日(日)

2 会場

ライトキューブ宇都宮, ホテル東日本宇都宮, ベルヴィ宇都宮, 東武ホテルグランデ, コンセーレ, ホテルニューイタヤ, ホテルマイステイズ宇都宮, ヒルズスイーツ宇都宮ブリーズテラス

3 出席状況

出席状況	令和8年(令和7年度)		令和7年(令和6年度)	
	該当者	出席者	該当者	出席者
総数	5,626人	4,041人	5,635人	4,046人
出席率	71.8%		71.6%	

4 実施結果

- ・昨年度から導入した電子受付システムについては, 新成人への周知を着実に行ったことにより, 今回事前に参加申込みをした新成人は全体の96.7%(3,909人)となった。
- ・ヒルズスイーツ宇都宮ブリーズテラスについては今年度初めて使用した会場であるが, 結婚式場という華やかな雰囲気の中で祝意に満ちた式典を開催することができた。

4 その他

(1)令和8年宇都宮市二十歳を祝う成人のつどいの実施状況について

ホテル・結婚式場



ライトキューブ宇都宮



4 その他

(1)令和8年宇都宮市二十歳を祝う成人のつどいの実施状況について(参考)

午前の部

中学校区など	会場
旭中学校区	ライトキューブ宇都宮
陽南中学校区	ベルヴィ宇都宮
星が丘中学校区	東武ホテルグランデ
陽東中学校区 宇都宮東高等学校附属中学校	ライトキューブ宇都宮
宮の原中学校区	ライトキューブ宇都宮
瑞穂野中学校区	ヒルズ スイーツ宇都宮 プリーズ テラス
豊郷中学校区	ホテル東日本宇都宮
晃陽中学校区 栃木県立富屋特別支援学校	コンセーレ
姿川中学校区	ホテルニューイタヤ
雀宮中学校区	ホテルニューイタヤ
鬼怒中学校区	ライトキューブ宇都宮
上河内中学校区	ホテルマイステイズ宇都宮
古里中学校区	ホテル東日本宇都宮
河内中学校区 栃木県立岡本特別支援学校	ホテル東日本宇都宮

午後の部

中学校区など	会場
一条中学校区	ライトキューブ宇都宮
陽北中学校区 栃木県立のざわ特別支援学校 栃木県立わかかさ特別支援学校	ホテル東日本宇都宮
陽西中学校区 作新学院中等部 宇都宮短期大学附属中学校 文星芸術大学附属中学校 栃木県立盲学校 栃木県立聾学校 宇都宮大学共同教育学部附属特別支援学校	ライトキューブ宇都宮
泉が丘中学校区	ライトキューブ宇都宮
清原中学校区 宇都宮海星女子学院中学校	ライトキューブ宇都宮
横川中学校区	ヒルズ スイーツ宇都宮 プリーズ テラス
国本中学校区	ホテル東日本宇都宮
城山中学校区	コンセーレ
宝木中学校区 宇都宮大学共同教育学部附属中学校	東武ホテルグランデ
若松原中学校区	ベルヴィ宇都宮
田原中学校区	ホテル東日本宇都宮

4 その他

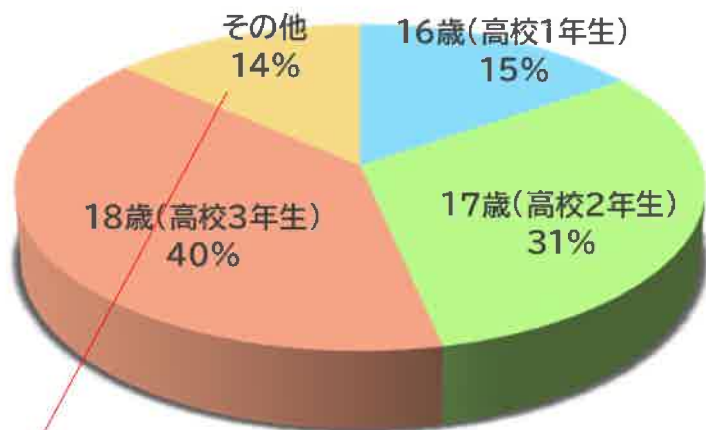
(2)宇都宮市二十歳を祝う成人のつどい
の高校生向けアンケート結果について

4 その他

(2)宇都宮市二十歳を祝う成人のつどいの高校生向けアンケート結果について

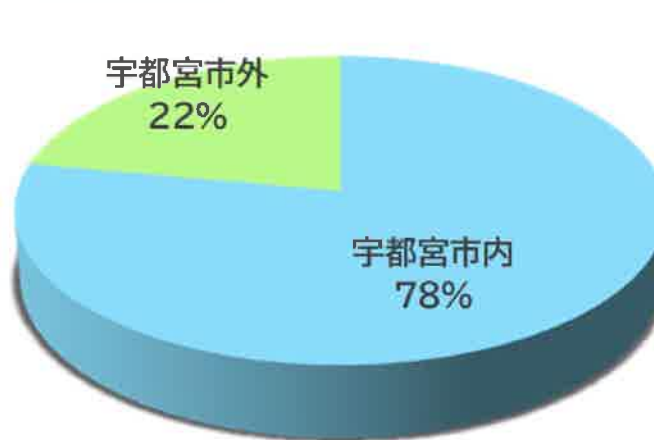
目的	➤ 人口減少などを見据えてよりよい「成人のつどい」とするため、将来的な参加者となる高校生等を対象とした開催方式等に関するアンケート調査を実施
対象	➤ 高校生(20歳未満の方)
期間	➤ 令和7年6月下旬～9月末
回答者数	➤ 163件

学年

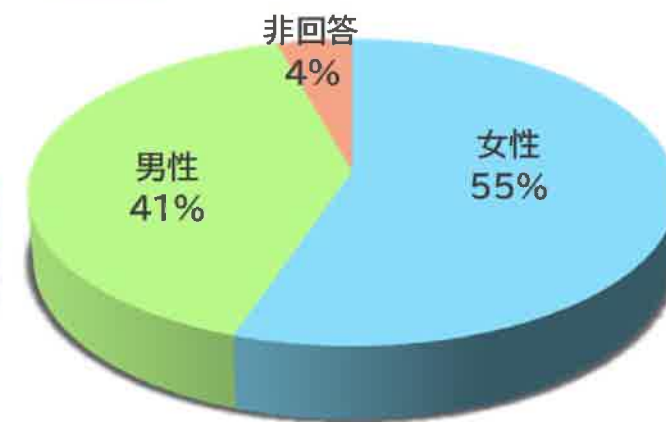


20歳以下の大学生や中学生など

お住まい



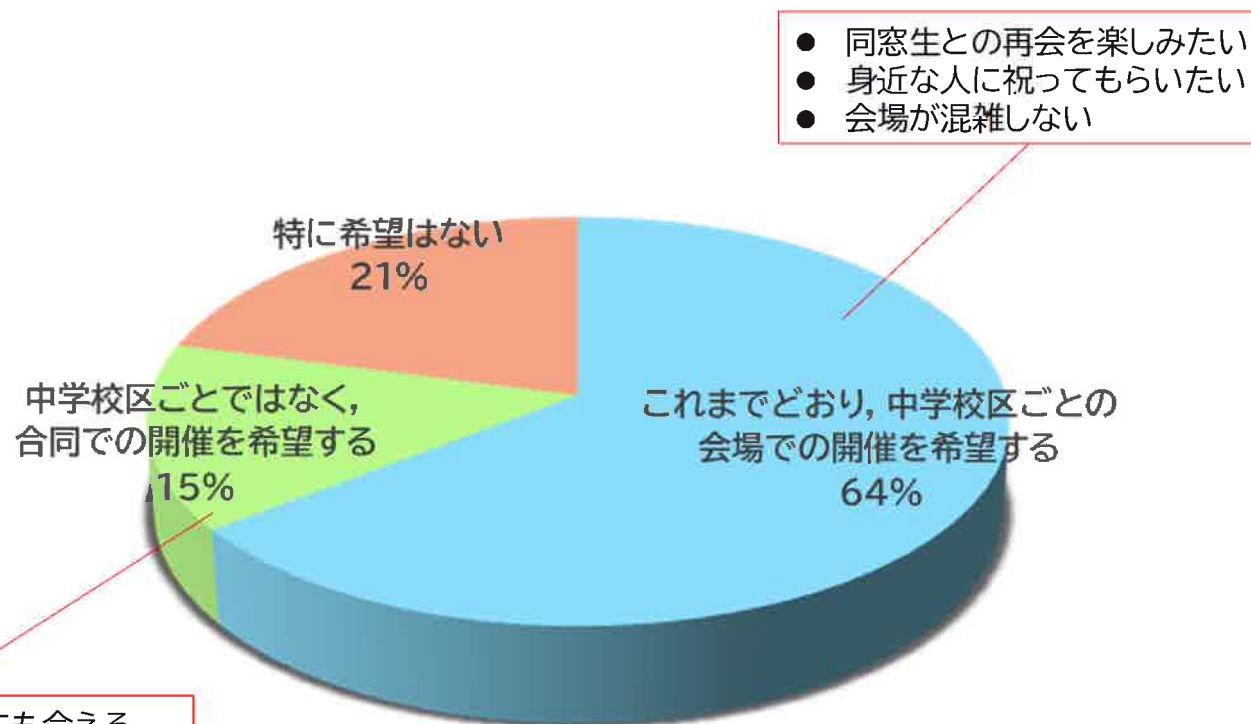
性別



4 その他

(2)宇都宮市二十歳を祝う成人のつどいの高校生向けアンケート結果について

「成人のつどい」の開催方式について



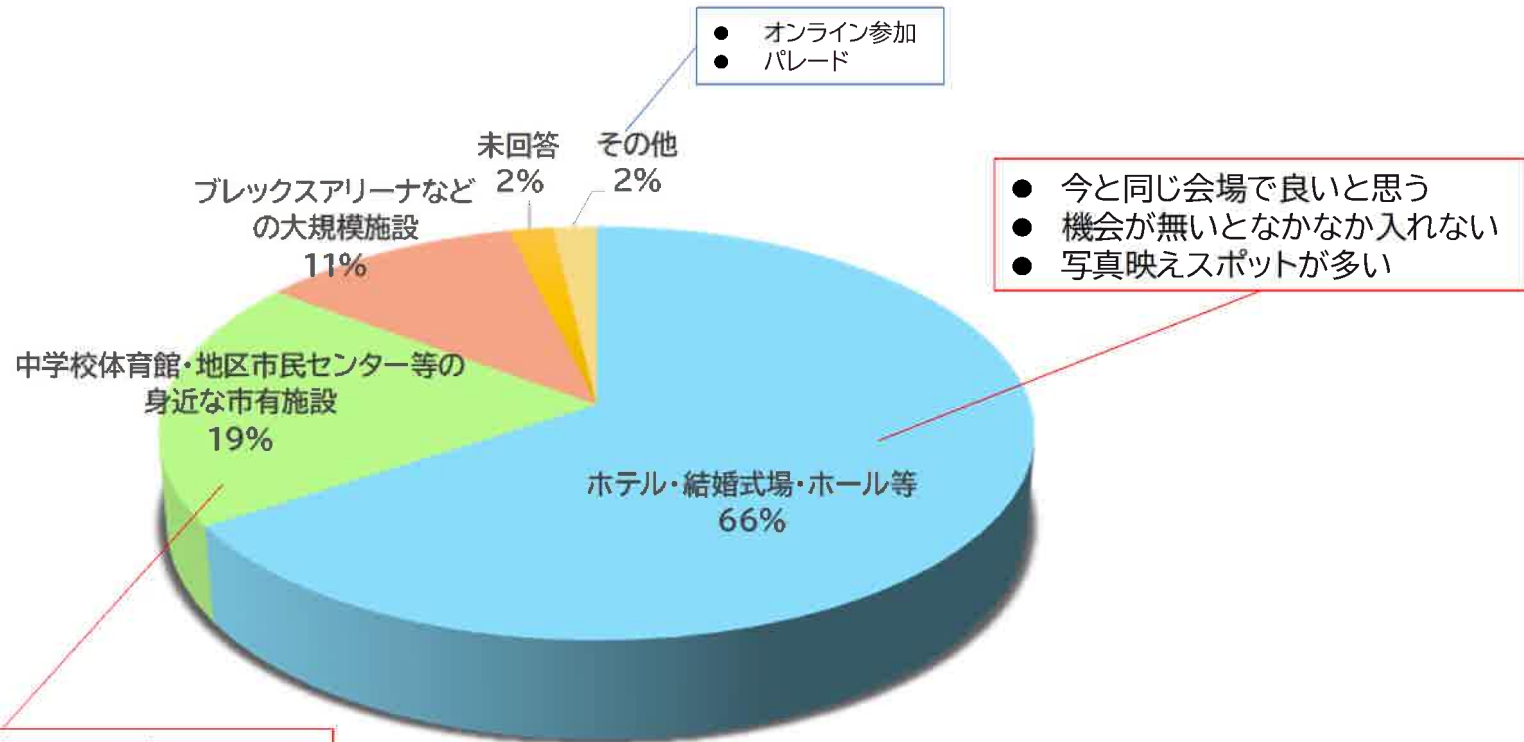
- 同窓生との再会を楽しみたい
- 身近な人に祝ってもらいたい
- 会場が混雑しない

- 中学校以外の友達にも会える
- 大人数で大規模に祝ってほしい
- 大きな催し物ができそう

4 その他

(2)宇都宮市二十歳を祝う成人のつどいの高校生向けアンケート結果について

「成人のつどい」の会場について

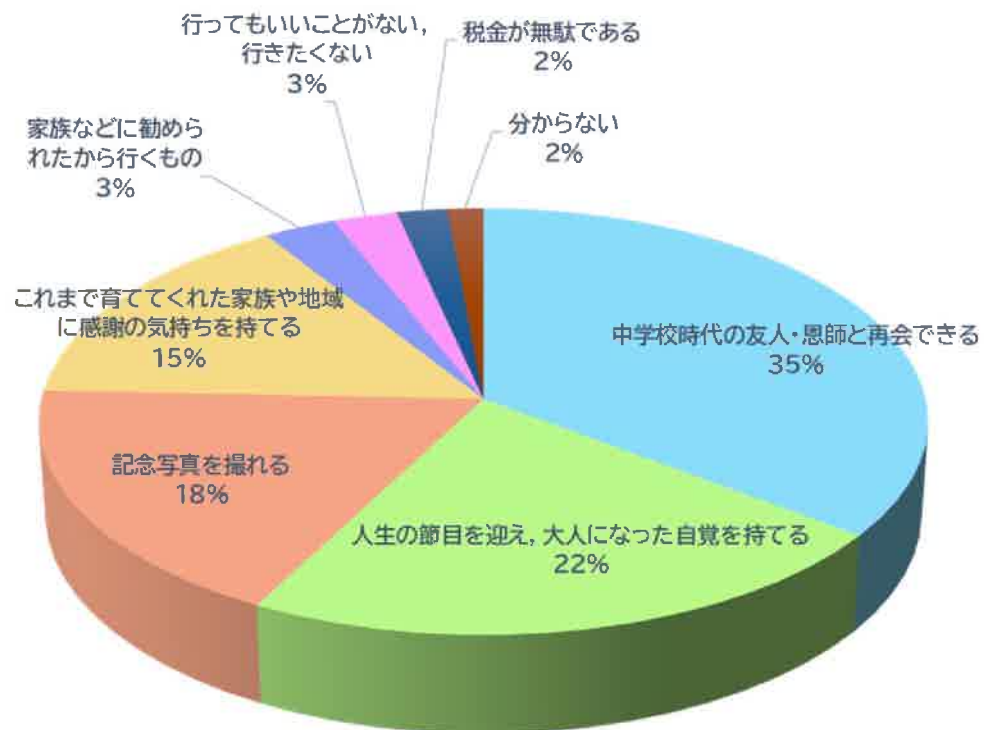


- 当時を思い出して懐かしい気持ちになる
- 自分が学んだ場所で祝ってほしい
- 家から近いため

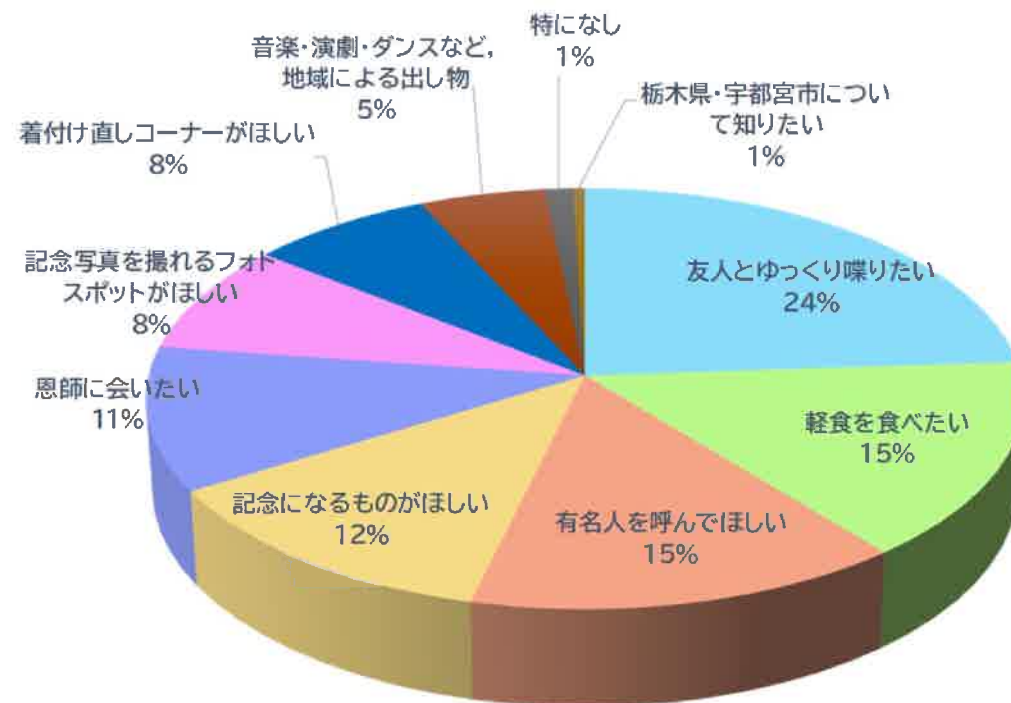
4 その他

(2)宇都宮市二十歳を祝う成人のつどいの高校生向けアンケート結果について

現在の「成人のつどい」のイメージについて (複数回答可)



「成人のつどい」の地域交流事業の内容について (複数回答可)



4 その他

(3) 今後のスケジュールについて

4 その他

(3)今後のスケジュールについて

令和8年7月 令和8年度第1回社会教育委員の会議

- 令和7年度「第3次宇都宮市地域教育推進計画」後期計画の実績評価について
- (仮称)「第4次宇都宮市地域教育推進計画」の策定に向けた基礎調査について
- 令和8年度栃木県社会教育委員協議会理事及び評議員の選出について
- 「うつのみや人づくり推進委員会」への委員の推薦について

など

5 閉会